




令和4年度 基本評価調書①		所管部局	環境生活部	所管課	道民生活課		
施策名	青少年の健全な育成			施策コード	0312		
政策体系(中項目)	北海道の未来を拓く人材の育成			政策体系コード	3(2)C		
関連重点戦略計画等						事務事業数	4
SDGs	  			総合判定	やや遅れている		
予算額(千円)	R 4	38,580	R 3	38,738	R 2	37,458	

施策目標	<p>・青少年の健全な育成に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るとともに、青少年を取り巻く社会環境の整備を促進し、及びその福祉を阻害するおそれのある行為を防止するため、過度なインターネット利用に起因する生活習慣の乱れや健康への影響、有害情報などから青少年を守るための関係機関が連携した取組などを推進し、次代の社会を担う青少年が健全に育成される社会の実現を目指す。</p>	
現状と課題	<p>・少子高齢化、核家族化が進み、家庭の養育能力の低下、地域社会とのつながりの希薄化といった問題や、異世代間交流の減少など、青少年をとりまく環境は厳しさを増している。 ・昨今はインターネットの利用に起因するトラブル・犯罪の他、ひきこもり、子どもの貧困など新たな問題も生まれている。</p>	
前年度二次評価意見		対応状況 (R4.3時点)

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全な育成に関する施策の総合的かつ計画的な推進 ・有害環境の浄化活動や、青少年の非行防止に向けた取組の推進 ・携帯電話・スマートフォンやインターネット利用による有害情報への対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成条例に基づき関係機関と連携してカラオケボックス、図書類を販売する営業所等に立入調査を実施(R1 2,617件 R2 1,516件 R3 1,078件) ・「自画撮り被害」などSNS利用に起因した性的被害が増加しているため、啓発資料を作成し、道内の中学校や高校に配布 (R1 リーフレット9.5万枚 R2ポスター2,500枚 R3リーフレット5万枚) ・学校関係者や大手携帯電話会社などで組織する会議の開催 (R1 1回、R2 1回、R3 1回)

連携状況	<p>青少年が非行に陥ったり犯罪被害に遭うことがないように、市町村等と連携した非行防止啓発や立入調査、教育委員会、警察、民間等と連携したインターネット利用に起因する有害情報対策に取り組む、着実に成果を上げている。 【道内のSNSに起因する被害少年数(千人当たり)】R1:0.208、R2:0.152、R3:0.161</p>
緊急性優先性	<p>スマートフォンやSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を始めとする新たな機器・サービスが急速に普及し、青少年を取り巻くインターネット利用環境が一層多様化する中で、SNSに起因する事犯の被害児童数が高い水準で推移している。新型コロナウイルス感染防止のため、人との接触を控える中、子供が自宅でインターネットを利用する時間が増え、不適切な受発信により、犯罪やトラブルに巻き込まれる機会の増加も懸念されている。</p>

令和4年度 基本評価調書②	施策名	青少年の健全な育成	施策コード	0312
----------------------	------------	-----------	--------------	------

<成果指標の達成状況> ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	減少	件	R元年	R2年	R3年	最終目標(R6)	達成率	指標判定
道内の刑法犯少年数 (千人当たり)		目標値	2.1	2.0	1.9	1.5	92.6%	B
		実績値	2.5	2.1	2.0	-		
設定理由	次代の社会を担う青少年が健全に育成される社会の実現状況を計る指標として、道内における人口千人当たりの刑法犯少年数(暦年)を設定。							
分析(主な取組と成果)								
刑法犯少年数は減少傾向にあるが、人口比では成人と比べ依然高い水準にあることから、目標達成に向けたさらなる取組が必要。 【刑法犯少年数の推移(3ヵ年)】 R1:674人、R2:544人、R3:524人								

指標名②	減少	人	R1年	R2年	R3年	最終目標(R6)	達成率	指標判定
道内のSNSに起因する被害少年数 (千人当たり)		目標値	-	0.152	0.137	0.098	85.1%	C
		実績値	0.208	0.152	0.161	-		
設定理由	有害情報などから青少年を守るための取組と関連して、道内における人口千人当たりのSNSに起因する被害少年数(暦年)を設定。							
分析(主な取組と成果)								
本道のSNSに起因する被害児童数は、人口比で全国に比べ依然高い水準にあることから、目標達成に向けたさらなる取組が必要。 【被害件数の推移(3ヵ年)】 R1:136人、R2:99人、R3:103人								

指標名③			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
		目標値					-	-
		実績値						
設定理由								
分析(主な取組と成果)								

【総合判定】

連携状況	○	緊急性優先性	-	指標判定	B	総合判定	やや遅れている
-------------	---	---------------	---	-------------	---	-------------	---------

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	7月を「青少年の非行・被害防止道民総ぐるみ運動強調月間」として設定し、「ペアレンタルコントロール等によるインターネット利用に係る子供の犯罪被害等の防止」を最重要課題として、フィルタリングの更なる利用促進や、「親子のルールづくり」、コンテンツや利用時間を管理するペアレンタルコントロール機能の積極的な活用等について重点的に啓発を行うこととする。
	②	
	③	

令和4年度 事務事業評価調書	施策名 青少年の健全な育成	施策コード 0312
-----------------------	----------------------	-------------------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性	
0619		一般	青少年育成推進事業費補助金	公益財団法人北海道青少年育成協会の事業に対する助成事務	道民生活課	0	36,562	36,562	0.4	0.0	0.4	39,676			【事務事業のコスト】道からの補助金等が事業費の2分の1を超える状況であるが、道が主体的、政策的に関わっていることについては理解する。今後においても道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めること。
0620		一般	青少年非行防止特別対策事業費	青少年に有害な環境の浄化を図るため、行政と地域住民との協働による有害環境浄化活動の推進等に関する業務	道民生活課	0	1,100	1,100	1.5	0.0	1.5	12,776	①	改善(指標分析)	
0621		一般	すこやか若人育成推進事業	道内の青少年の意見等を的確に把握するとともに、道内経済団体等と連携して協議会を組織し、将来の北海道を担う青少年の人づくりに取り組む事務(「次代の北海道を担う青少年育成協議会」)	道民生活課	0	918	918	0.4	0.0	0.4	4,032			
0622		事務	青少年の健全育成に関する事務	北海道青少年健全育成審議会に関する内部調整事務 北海道青少年健全育成基本計画の推進管理に関する事務	道民生活課	0	0	0	2.4	0.0	2.4	18,682			
計						0	38,580	38,580	4.7	0.0	4.7				

